

質問

これからの幼児教育の環境は



高橋 恵美子 議員

町長

良いあり方を探していく



幼稚園での保育士と子ども

質問 来年度の入所受け入れ状況について現在わかっている人数は。

こども家庭支援課長 現在、幼稚園に在籍のお子さん326人の保護者259人については事前に入園申込書を送っている。本日までに出していた人数は、259人、新規が18人、継続241人で約9割の方から申

し込みをいただいている。

質問 現在通級を必要としている子どもへの保育の取組みと課題は。

町長 教育魅力課指導で通級指導教室を実施、そこで個々の状況に応じて指導をしている。

質問 保育の現場において各種申請や業

務の中でのデジタル化への取組みは。

町長 仁多福祉会ではデモンストレーション等を実施予定とは伺っている。保育現場のシステム導入の結果、業務の効率

化等園へのメリットも大きいと思う。

質問 幼児教育の環境を整えるにも何か施策が必要となる、これからの仁多福祉会との連携は。

町長 月一回、福祉会の管理職、担当課で幼稚園の実態について、今後の運営については、放課後児童クラブ、子育て支援センター等について情報交換している。

安心して暮らせる生活環境づくり

質問 地域公共交通計画の進捗状況は。

政策企画課長 今年度中に第3回法定協議会において計画の承認を得て、計画を策定する。

質問 誰もが安心して利用できる交通サービスは。

町長 公共交通計画の中で方向性を示したい。

質問 交通サポート券は高齢者世帯でも助成対象にかなりの条件がある、この内容について見直し、変更等は。

町長 今年度10月からは、町内の指定したガソリンスタンドで灯油の配達にサポート券が利用出来るようになった。

日常生活の利便性が向上していくような制度に見直しを行っていく。



奥出雲交通三成車庫より乗車

その他の質問

農家の生活と経営を守るための、これからの取組みは。